



工事タイムス

大東京地下鐵道

許可されたる四線東京市の高速地下鐵道設數に對し、五月十六日正式に鐵道省より認可の指令があつた。同工事の様式は地下式及び高架式として、地下式は地質に應じて煉瓦卷鐵筋函型チューブ式の三様式とする、軌間は四呎八吋半とし、第三軌條式によつて、六百ヴォルトの電力で、百二十五人乗のボギー車五輛連結で運轉する豫定である。速度は一時間平均十六哩として、各終端から中央部までは十九分以内で到達する事が出来る。建設費は一哩當り四百五十萬圓で、全部四線の延長四十一哩四十鎖の總工費は一億八千七百萬圓の豫定になつてゐる。これが財源は全部市債に俟つはずである。各線の停車場は全部で六十七箇所で乗換場は十二ヶ所の豫定である。各系統及び停車場の位置は左の通りである。

- ◆目黒—天現寺—木下坂上—六本木—飯倉—虎の門—櫻田門—市役所前—上横町—本石町—淺草橋—藏前—田原町—千束町—三の輪—南千住
- ◆澁谷—青六—青一—赤坂見附—虎の門—新橋—數寄屋橋—市役所前—東京驛前—飯倉河岸—萬世橋—本郷三丁目—高等學校前—肴町—宮下町—巢鴨
- ◆角筈—追分—鹽町—四谷見附—半藏門—櫻田門—數寄屋橋—木挽町—築地—水谷町—濱町—淺草橋—西鳥越—上野廣小路—本郷三—傳通院—大塚仲町—大塚終點
- ◆池袋—學習院前—早稻田—天神町—飯田橋—九段下—神保町—大手町—東京驛前—上横町—下横町—水谷町—門前仲町—木場町—洲崎

起工後四年目に一部運轉の豫定で東京市電氣局は之が爲め地下鐵道部を新設して直に備準に着手し來年度早々本工事に掛る筈であるが、右について

市電氣局の曾山理事の談は最初はベーターゼン式の計畫であつたが、主務省なご協議の結果ターナー式に変更した。それに郊外線を除き延ばさない事にした爲、建設費の如きも一哩四百萬圓が四百五十萬圓に改められ、主として郊外に江東方面は高架式とする豫定である。山の手方面では地下式高架式を併用する處もあるが、工事に着手後、四ヶ年目から一部の營業を開始する考へである。四線全部の開通するのは起工十三年目である、一哩地下掘鑿工事で約一萬坪の土砂が出るから、全部で四十萬坪からの土砂處分が大問題である。大體に於て地下道の深さは五尺から十二尺とし、隅田川の河底を潜るのが最も深く約七十尺位の深さにならう」と

京濱國道

神奈川縣が施行中の京濱間第一號國道は今月末に於いて完成の豫定であつた處六郷橋の架橋が遅延してゐるので完成は七月末頃になる由で既に一部は通行してゐるが完成の上は降雨期でも京濱の往復は安全であるが、東京府の分及横濱市内の分は未成なので竣工式は後日に譲り單に橋梁の渡り初式だけに止める由である。

神田川の拱橋と大河戸氏の論文

鐵道省が頻りに工事を進捗させてゐる上野神田間の高架線工事は近く竣工し十月一日から開通する豫定になつてゐるが、この工事の中で神田川に架かつてゐるアーチの設計に當つた同省東京第一改良事務所長大河戸宗治氏はは今度工學博士の學位

を授與された、その設計は實に復興途上の新發見さもいふべく在來の設計方法を逆にした理想的にも經濟的にも此の上ない方法である、それを論文として提出されたものである。

神通河口に造る大岩瀬港

富山縣東岩瀬港の修築設計は今度地元にて追加廿萬圓を負擔し、神通川河口の改修設計を出願したので、之が許可になつた場合は當然東岩瀬港築港の既定設計にも變更を來す譯である、從來の計畫では區域も狭く、水深も十五尺位で辛うじて一千噸級位の船が入るここの出来る設備をすることになつてゐたのである。其が今度の變更で河幅が著しく擴まり、現在大部分進んでゐる東岸の堤防は六七十間も東へ移し、其の跡は掘つて港になる譯で、全體の河幅は四百間近くにもなり水深廿五尺位までの工事は出来るであらう。水深廿五尺もあれば三千噸級の船がはいり、現在の萩浦橋はズット上流へ移轉架橋されることになる由。

英大使館の建造計劃

英國政府の在東京同國大使館新築計畫は愈々具體化したので建築費假豫算三十萬磅支出案を今期議會に提出して協賛を求むる筈であるさ、右設計に據れば現在の建物の全部を取拂ひ其敷地を一廓として永久的の大使館を新設し大使及び館員全部の家族をも收容することになつてゐる、又特に耐震の點に細心の考慮を拂ひ地震に因る損害の程度を局限するため震時にも四分の一の傾斜に耐へ且つ一秒間に八呎の水平動にも倒壊を免れ得る仕組で建築物の高さを百十呎さし單式礎石鐵筋コンクリートの建築様式を則り同時に建物の方位等に就いても十分の注意を加へたものであるさ。

大岸和田の建設

岸和田市は細くて汚い街である、しかしその汚い街も南北に通ずる國道が本年中に全部アスファルトで舗裝されるから、多少面目を改めるが、その

他の市道に至つては依然無統一不規則で殊に封建時代そのまゝの折曲の多い道路の改修には代々の當局者も手古摺つて、いづれも徹底的な工事を斷念し、本年度に於て驛前に五間幅の幹線道路を作るに止め、新に都市計畫を樹立しその基本さなる地勢測量に着手し、目下着々實測を進めつゝある由。

京濱運河開鑿

總工費二千萬圓五ヶ年間繼續を以て愈々明年度から實行に着手せんさ計畫中の京濱運河開鑿に就ては其後内務省の調査漸く進捗し遅くとも來月中旬頃迄には土木局の成案を得る見込みであるが只現下の財政状態に鑑み本事業の副産物さも謂ふ可き埋立地を大に増加して其の拂下に依り、工費の大部分を回収することゝした、而して少くとも百萬坪以上の埋立地を設くることに内定し、同時に經費も總額を二千萬圓にしたのである。

新案の鐵道橋工事

鐵道橋梁の補強施設取換は一段桁(七十呎)につき從來約一萬二千圓を要し、その負擔に惱みつゝありしが、さきに鐵道省工務局保線課さ官房研究所さ協力研究の結果、フイックトラス式を採用することゝし、先づ關西那智川橋梁に試験的に施設したところ(本年三月一日着手五月四日完成)成績頗る良好で、且つ經費も僅かに二千圓で足りるので、今回全國的にこの式を採用することゝなつた、従つて今後の橋梁改良費は著しく節約さるゝ由。

松江港修築

松江市では斐伊川改修工事に伴ふ大橋川浚渫工事の機會を利用し、大橋川に七百噸級の汽船二隻を繋船し得る松江築港計畫をたて、高橋同市長からの依頼で内務省内港灣協會常務理事比田技師が十六日東京發十八日松江着十九、二十の兩日滞在して築港修築の豫備調査をなす由。